

公益社団法人日本人間ドック学会
会員各位

公益社団法人日本人間ドック学会
健診判定・指導マニュアル作成委員会 委員長
和田 高士

判定区分の一部変更について

判定区分（2018 年 4 月 1 日改定）につきまして、%1 秒量の C・D 区分を一部変更いたします。以下の 下線部 の通りとなりますので、学会誌 33 巻 4 号 81 (625) ページは、以下に読み替えてご覧ください。

本件につきご了知の上、周知方ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

学会誌 33 巻 4 号 81 (625) ページ (変更前)

項	目	A 異常なし	B 軽度異常	C 要経過観察 (生活改善・再検査)	D 要医療 D1 要治療・D2 要精検 *1
呼吸機能 (スパイロメトリ-) 小数点 1 ケタ 表記に変更 *2	1 秒率 (%)	70.0 以上			69.9 以下
	%1 秒量 (予測 1 秒量に對する%)	80.0 以上 (1 秒率 70.0%以上)		80.0 以上 (1 秒率 69.9%以下)	79.9 以下
	%肺活量 (%)	80.0 以上			79.9 以下

(変更後)

項	目	A 異常なし	B 軽度異常	C 要経過観察 (生活改善・再検査)	D 要医療 D1 要治療・D2 要精検 *1
呼吸機能 (スパイロメトリ-) 小数点 1 ケタ 表記に変更 *2	1 秒率 (%)	70.0 以上			69.9 以下
	%1 秒量 (予測 1 秒量に對する%)	80.0 以上 (1 秒率 70.0%以上)		<u>79.9 以下</u> <u>(1 秒率 70.0%以上)</u> <u>または</u> 80.0 以上 (1 秒率 69.9%以下)	79.9 以下 <u>(1 秒率 69.9%以下)</u>
	%肺活量 (%)	80.0 以上			79.9 以下

変更理由：「%1 秒量低下あるいは 1 秒率 70%未満」区分は、COPD に関する呼吸機能判定区分 C「肺疾患の疑い、専門医受診での再検査」に該当しますが、人間ドック受診者では 11%も存在し肥満の影響もあることから（和田高士：総合健診 2017；44：683-686）、日本人間ドック学会の C 区分での対応でよいと判断した。